

・資料配布の場所・日時

1. 北海道庁道政記者クラブ
 2. 札幌市政記者クラブ
 3. 北海道建設記者会
 4. (株)建設行政新聞社
 5. (有)実業建設新報社
 6. 北陸工業新聞社(株)富山支局
 7. (株)鉄鋼新聞社 富山支局
 8. (株)日刊建設通信新聞社 新潟支局
- 日時：令和7年7月22日 (14:00)



国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所
令和7年7月22日

寒冷地の暮らしを支える土木の新技术を富山で紹介

令和7年8月27日に富山市において、寒地土木研究所が研究開発した優れた効果を上げる新しい技術を6件紹介します。

本説明会は北海道外の積雪寒冷地域にも役立つ新技术を公共工事等に携わる幅広い技術者を対象に説明し、現場への普及を図ることを目的に開催します。

1. 開催日：令和7年8月27日（水）13:15～16:30
2. 場所：ボルファートとやま（富山県富山市奥田新町8-1）4階 琥珀の間
3. 開催内容：詳細は別紙をご覧ください
4. 参加費：無料
5. 申込期限：令和7年8月22日（金）まで
6. 申込方法：下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願いいたします。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



寒地土木研究所 HP

（イベント情報）

取材いただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
当日、直接会場にお越しいただいても結構です。

【問い合わせ先】	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 寒地技術推進室	室長	ながせ 長瀬 禎
		主任研究員	ふじかわ 藤川 亮
	電話番号	011-590-4046	

新技術説明会(富山)



積雪寒冷地のために研究開発した
土木技術をご紹介します。
ぜひご参加ください！

2025年8月27日(水)

13:15～16:30 (受付開始 12:15)

会場：ボルファートとやま 4階 琥珀の間 (富山市奥田新町8-1)



交通アクセス

JR富山駅北口より徒歩5分

※公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

参加無料
事前申込



スマホ・タブレットは
こちらから

参加ご希望の方、CPD・CPDS認定講習会にお申込の方は、
寒地土木研究所寒地技術推進室のWEBサイトよりお申込ください。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

寒地土木研究所 イベント情報



お申込

CPD・CPDS認定講習会

JCCA

CPD単位: 3.00
202506190005

建設コンサルタツツ協会
CPD認定プログラム



993275
3unit

講演プログラム・技術紹介

13:15 主催者挨拶
開会挨拶 土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監 伊東 靖彦

13:20 AI画像認識を用いた路面雪氷推定システム
技術紹介 寒地交通チーム 主任研究員 齊田 光

AI路面雪氷推定システムは、深層学習を用いて画像から路面雪氷状態（路面すべり摩擦係数、雪氷の種類および積雪時の路面凹凸深さ）を推定するシステムです。スマートフォン等のWebブラウザ（Google ChromeやSafariなど）から計測用ページにアクセスし、端末のカメラを路面に向けてだけで路面雪氷状態を推定することが可能です。

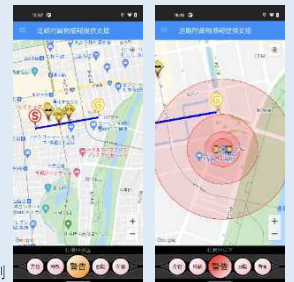
路面すべり摩擦係数、雪氷の種類および積雪時の路面凹凸深さの推定



13:45 除雪機械オペレータ支援アプリ
技術紹介 寒地機械技術チーム 研究員 山田 充

積雪で埋もれて見えない道路付属物と除雪車の接触事故を防止するための情報提供アプリです。車載機器はスマートフォン（Android）のみで、あらかじめ位置情報を登録している道路付属物に除雪車が近接すると警報音と画面点滅等でオペレータに知らせることができます。

アプリ画面の一例



14:10 堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料
技術紹介 寒地河川チーム 主任研究員 島田 友典

堤防決壊時の緊急対策工事の効率化を考える際に必要となる河川特性に応じた決壊口の締切方法や重機作業、使用する資機材の適応性について検討したものです。堤防決壊時の緊急対策シミュレーション等でより有効な緊急対策の選択に寄与できます。



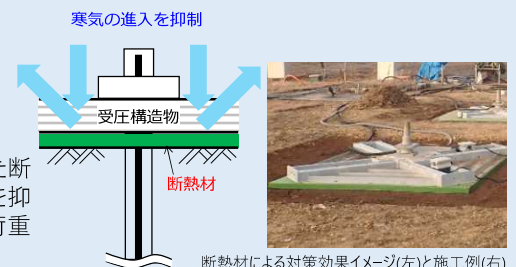
実物大規模の越水破壊実験

14:35 質疑応答（前半）

14:50 休憩（10分間）

15:00 グラウンドアンカーの凍上対策技術
技術紹介 寒地地盤チーム 研究員 御厩敷 公平

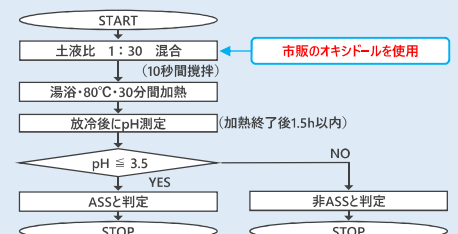
グラウンドアンカー工において、受圧構造物と地盤の間に断熱性及び強度に優れた断熱材を敷設することで、凍上・凍結融解を防止する技術です。寒気の地中進入を抑制し、凍上の発生を抑制することで、受圧構造物やアンカー引張材に作用する荷重（凍上力）を抑制します。



断熱材による対策効果イメージ(左)と施工例(右)

15:25 酸性硫酸塩土壌の簡易判定法
技術紹介 資源保全チーム 特任研究員 横濱 充宏

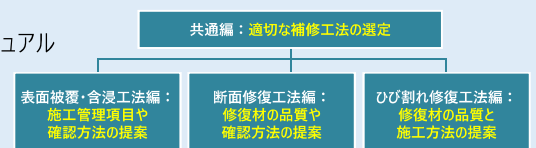
酸性硫酸塩土壌が分布している地域での工事現場において、短時間で酸性硫酸塩土壌が否かを簡易判定する技術です。工事現場にて簡易かつ速やかに判定することが可能であり、工事工程への影響を軽減することが期待できます。



簡易判定法のフロー図

15:50 コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル 2022年版
技術紹介 耐寒材料チーム 上席研究員 三原 慎弘

内容の充実と新たな知見等を加えて改訂した2022年版を作成しました。マニュアルは、共通編、各補修工法編、および補修後の不具合事例集で構成され、2022年版ではシラン系表面含浸材と断面修復工法の新たな知見等を追加しています。



各種補修工法における材料・工法の選定や施工上の留意点を明示

マニュアルの構成

16:15 質疑応答（後半）

16:30 閉会